

たむら・はじめ/1973年、秋田市生まれ、1992年早稲田大学入学後、陶芸を始める。大学院修了後、東京をメインに作家活動開始。2002年、益子に移住。以後、国内外で個展開催。2011年、秋田市仁別に戻り、スタジオ"hesta"設営。また、週刊モーニング連載中の『へうげもの』とのコラボレーションを果たす。「へうげ十作」の1人。2015年冬にはnoma Japanのための器を制作。
http://calmdown1.tumblr.com/



Essay エッセイ

「好き」と「面倒くさい」の間

陶芸家 田村 一 (平成4卒)

2000年頃から陶芸家としての活動を始めて、よく「作るのがお好きなんですか?」とか「好きなことを仕事にされてうらやましいです」と言われる。そのたびに自問するのが「自分は本当に作るのが好きなんだろうか?」ということ。確かに子供の頃から手を動かして何かを作るのは嫌いではなかったし、陶芸やガラスの作家が何か作っている様子を映したテレビの番組があると、それをかじりつくように見ていた。

ところが、いざ「陶芸が好きか?」と問われると、はたと返事に困ってしまう。好きとか嫌い以上に「面倒くさい」ことの方が多いのだ。たとえば自分の窯には茶碗なら200個は入る。だからと言って、いつも窯を焚くたびに200個茶碗を作ればいいというわけではない。同じ湯呑を300個作ってほしいという注文があれば、ただ機械のように黙々と手を動かしてそれだけ作る。もちろんそれが自分が気に入っているかどうかは度外視で。

また、実際に焼けた作品はそれを愛でているだけではダメで、値段を付けて梱包して納品して展示して……。その過程は基本的には一人での作業だし、何よりいちばん厄介なのが、そうやって作った作品が売れる保証はどこにもないということ。だから「作る」以上に「売る」ことに必死にならないと新しい作品は作れない。それが実に面倒くさい。そんなことを自分ですでに15年以上続けていることになる。

単純に「好き」だけなら休みの日に気に入ったものを作ればいいだけの話だし、それはとてもとても楽しいはず。でも自分はそうではない。結果に結び付かない作業を延々と続けるには、ただ好きという感情だけではダメだと思つた。たとえば自分の制作姿勢を振り返ってみると、ある種の思いつきで作っている。粘土の生理を探って、それを感じて、形作る。たまに手に

粘土から「こうし」とくとい「み」みたいなフィードバックがある。そうするとしめたもので、まるで将棋の対局のようにお互い丁々発止の探り合いをしてるような感覚になる。作品は勝手にできてくる。もちろん自ずと作品は安定せずどんどん変化していくのだけど、これが実に楽しい。反面、とても面倒くさい。でも早く「次」が見たいから、どんどん手を動かしていく。京都の陶芸家の河井寛次郎の残した「新しい自分が見たいのだ……仕事する」という言葉はこれかと、今書きながら思いついた。

ともかく陶芸は制作から発表するまで、面倒くさいことだらけなのである。もしかしたら面倒くさいことに対して、自分はどうに諦めてしまったのかも知れない。他のことは本当に面倒くさがるの自分だけ、どうも陶芸に対してはそうでもない自分を見つけることができた。必要以上に早起きしてギターを弾いたり、する必要もない徹夜をして物語を書いたり……。それだつて十分面倒なことだろう。もし、面倒くさくてもそれに対して意識が向くのであれば、実際にやってみたらいいと思う。「好き」とは別の次元でやれることがあるかもしれないし、それを続けるのは割と苦にならない。自分はこれからも毎日、あー面倒くせーとか言いながら、茶碗を作っていくことだろう。



古田織部没後400年忌 へうげ十作展より

株式会社 土井商店

代表取締役
土井 純一郎 (昭和50年卒)
大仙市刈和野312
TEL.0187-75-2211 FAX.0187-75-0423

株式会社 千秋矢留会
すくすく保育園 すくすく学童クラブ
代表取締役 土井純一郎(昭和50年卒)
取締役 石田達郎/石田歯科医院 院長(昭和50年卒)
石川浩一/石川医院 院長(昭和50年卒)
顧問 竹田隆一/山形大学教授(昭和50年卒)
秋田市千秋矢留町2-8 TEL.884-7474 FAX.884-7440

ISUZU 秋田いすゞ自動車株式会社

代表取締役社長
辻 良之 (昭和50年卒)
秋田市寺内字蛭根85-7
TEL.018-862-6601(代)
http://www.akita-isuzu.co.jp



もっと、秋田が好きになる。
ABS秋田放送
代表取締役社長 **立田 聡** (昭和50年卒)

人と美しい自然の調和 秋田土建株式会社

代表取締役
北林 一成 (昭和50年卒)
【本店】〒018-4301
北秋田市米内沢字倉ノ沢出口5-1
TEL.0186-72-3001 FAX.0186-72-3004
【本社】〒010-0951
秋田市山王五丁目6-20
TEL.018-823-2579 FAX.018-823-2591